

第76回大会 TEAM FUKUOKA NEWS



福岡県選手団サポートニュース R3. 1.30. Vol.3

やったぞ!アイスホッケー競技成年男子5位入賞!

【成年男子チーム】

1月29日(金)長久手市モリコロパークアイススケート場。アイスホッケー競技成年男子は大阪府との準々決勝。静寂の中、競技が始まった。第1ピリオドは、大阪の猛攻を福岡が凌ぐ形でゲームが進んだが、2点を先制される。しかし、第2ピリオドでは福岡が意地を見せた。井藤貴大選手(立命館大学)が、相手の一時退場の隙にパワープレーで1点を返すことに成功。この第2ピリオドにおいて、福岡は3回の一時退場があったにも関わらず全員で死守し、得点を与えなかった。何度も身を挺して倒れながらゴールを守る選手達。この一戦に懸ける思いがひしひしと伝わってきた。そして第3ピリオド。相手の猛攻は続き、スティックが折れる程のぶつかり合いの中、福岡は“絶対に得点させない”思いで死守したが、大阪の猛攻に押し切られ、結果3-1で敗れた。試合後、原田克己監督((株)バンザイ)は「負けたが、5位入賞という結果に胸を張ってもらいたい。選手には感謝の気持ちでいっぱいです。」とコメント。主将の阿部一貴選手(ヤナセオートモーティブ(株))は「このような状況の中、試合に出場させてもらい、5位入賞を果たせたことに感謝したい。来年は今年以上の結果を目指します。応援よろしくをお願いします。」と笑顔で応えてくれた。アイスホッケー競技成年男子チームにとって、今回の5位入賞という成績は、過去10年振り返っても最高順位となっている。来年は更なる高みを目指し大活躍してくれることを期待したい。



アイスホッケー競技少年男子健闘!!

29日(金)豊橋市アクアリーナ豊橋アイスアリーナで行われたアイスホッケー競技少年男子の試合。ベスト4をかけ、強敵北海道と対戦した。第1ピリオドから、スケーティングやシュート数等、圧倒的な力をみせつける北海道。福岡もチーム丸となり守るも北海道から4点を先取される。その後も北海道の猛攻を粘りの守りとともに、果敢な攻めの姿勢で強豪に食らいついたが、15-0で惜敗。この試合で見せてくれた“諦めない”福岡の若い力を30日(土)の順位決定戦でもぶつけてもらいたい。



【少年男子の試合】

フィギュア競技成年女子 SP(ショートプログラム) 始まる!

29日(金)名古屋市日本ガイシアリーナアイスリンクにて行われた成年女子。出場する選手は昨年行われた八戸国体の同種目で優勝を果たした竹野比奈選手(福岡大学)と竹野仁奈選手(筑紫女学園大学)の姉妹ペアだ。昨日行われた少年女子は4位入賞を果たしており、良い流れがきている。本で行われたSP(ショートプログラム)では、落ち着いた演技を披露してくれた。姉妹はSP後「まずまずの出来だった。今やれる演技は精一杯できた。」とコメント。また、30日(土)のFS(フリースケーティング)に向けて「しっかりと準備し、今持っている力を最大限発揮したい。目標は表彰台。」と自分たちの力を分析し、冷静に語ってくれた。SPの結果は竹野比奈選手が7位、仁奈選手が8位となっている。全日本クラスの選手が多数出場する成年女子。成長した姉妹の活躍に注目したい。



【竹野仁奈選手・比奈選手】

Instagramで国体情報を絶賛公開中!!
フォローお願いします!!



体育スポーツ健康課



アクション福岡